

素粒子・原子核・宇宙「京からポスト京に向けて」シンポジウム

重点課題⑨の広報戦略



筑波大学計算科学研究センター
吉戸智明
yoshito@ccs.tsukuba.ac.jp

広報活動

戦略プログラム分野5から継続
新規コンテンツの開発

広報戦略

理研AICS、RIST、重点9課題、萌芽的5～
12課題の広報連携を強化



ウェブマガジン 月刊JICFuS : 年間3~5本
JICFuSムービー : 年間1~2本

Getting to the Heart of Matter
Visiting Italian researcher is seeking to understand what keeps quarks in confinement

Just one month after obtaining his PhD in quantum chromodynamics (QCD) from Italy, Guido Cossu was on his way to carry out post-doctoral work research group. That was the program ended in April, only immediately offered the opportunity to continue his research in a new five-year different support group called Performance Computing Information program that is investigating fundamental science. He realized that this was a great opportunity.

"I was interested in Japan, its culture, before coming here," says Cossu. "Japan has supercomputers, and the HPCI program means I can continue my post-doctoral work as a theoretical physicist in Lattice QCD using supercomputers like the K computer. Before attempting to explain Lattice QCD, we first need to grasp what quantum chromodynamics is all about."

QCD is a field theory explaining the strong nuclear force: the interaction between quarks and gluons that bind these fundamental particles together, and which in turn keeps protons and neutrons together. Historically, the theory was used to describe ordinary matter; namely, the interactions that take place during high-energy experiments in accelerators, and the interactions that bind the nucleons together. QCD is the simplest form of the theory.

We can think of QCD as an expanded version of the simpler quantum electrodynamics (QED): the quantum theory of the electromagnetic force. QED is used to visualize the interaction between charged particles and photons.

世界最大のシミュレーションでダークマターの正体にせまる

投稿日: 2013年4月1日 作成者: 計算基礎科学連携拠点 広報室
2013.4.8 筑波大学 石山智明 研究員

JICFuSムービー (8本計46000再生)
<http://www.youtube.com/user/monthlyjicfus>

世界最大のシミュレーションでダークマターの正体にせまる

全記事とムービーをまとめて
成果集として冊子DVD化⁴

天文・素粒子イベント：年間1～2回

大小合わせて5年間で22
イベントを実施



来場者は計3877名、
ネット中継の視聴者は計
6964名

5

量子色力学カードゲーム『Quark Card Dealer』 カード版

日本語版：12,890人がプレイ
147,415枚を配布（5年間）
英語版：38,135枚を配布（4年間）



量子色力学カードゲーム『Quark Card Dealer』 ウェブ版

<http://www.jicfus.jp/jp/promotion/pr/quark-card-dealer/>



重点課題9で新たにやりたいこと

- ダークマターシミュレータ
ステラナビゲータやMitakaなど既存のシミュレータにダークマター分布を重ねられないか？
- 計算核図表
「京」やポスト「京」による計算結果だけで核図表を作れないか？
- 一家に一枚シミュレーション
計算科学やスパコンの今を一覧化できるポスターを、AICSや他の重点課題機関と共同で作成したい。

重点9メンバーへのお願い：メディア対応、受賞など

- 対外的なアクションは、すべて、即時に、広報にご連絡、ご相談ください。
- JICFuSウェブ「謝辞・成果発表の手引き」
<http://www.jicfus.jp/jp/promotion/pr/shaji/>
論文の謝辞やメディア対応等についての指針を記載しています。
- 研究成果のシミュレーション画像やムービーができたら、どんどんお知らせください。ウェブの画像ムービーアーカイブに掲載します。
- 研究会案内とセットで報告記事をウェブに掲載します。研究会を実施したら、1週間以内に参加者数や当日の様子、写真を1～2枚送ってください。

jicfus-pr@ccs.tsukuba.ac.jp

研究活動：物理学会、天文学会などで時々発表

学会発表

- 吉戸智明、矢部あずさ、入江敦子
「多機関連携プロジェクトの科学広報」
日本天文学会2012春
- 矢部あずさ、吉戸智明、入江敦子
「科学広報におけるトレーディングカードゲームの活用」
日本天文学会2012秋
- 吉戸智明、永井智哉、矢部あずさ、入江敦子
「素核宇宙多機関連携プロジェクトの広報」
日本天文学会2015年春

2012年度筑波大学重点公開講座

(2013/1/12～14)

「大学・研究機関のパブリック・リレーションズ
－科学技術のPR戦略」

10

HPCI広報連携

理研AICS、RIST、重点9課題、萌芽的5～12課題の
広報連携

- 広報ワーキンググループ
年に数回、全広報責任者を集めて意思決定、実務面の調整、情報交換などを行う。
重点課題連携推進会議の下に設置。
- 行政事業レビュー対応
理研AICS、RISTなどと連携。
ポスト「京」波及効果調査などとも呼応。

11

背景：計画、提言など

第5期科学技術基本計画

科学技術と社会を相対するものとして位置付ける従来型の関係を、研究者・国民・メディア・産業界・政策立案者といった
様々なステークホルダーによる対話・協働、すなわち「**共創**」
を推進するための関係に進化させることが求められる。

HPCIコンソーシアム提言：

今後のHPCIシステムの整備・運用

情報発信だけでなく、情報受信を重視した広聴機能をより強化し、HPCI運営にフィードバックしていく仕組みを構築する

行政事業レビュー

成果発信の強化。基礎的成果と実用的成果に分けること。一般向けの丸めた情報発信だけでなく、難しくても正確さを損なわない計算科学の成果発信が必要。

広報（科学技術）：類似語の整理

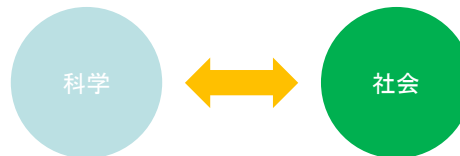
理解増進



アウトリーチ



科学コミュニケーション



広報？

広報 改め Public Relations (PR)

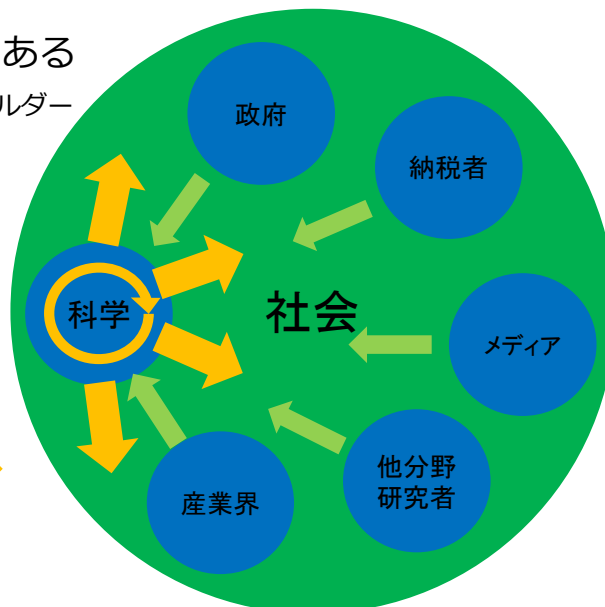
科学は社会の中にある

社会は多様なステークホルダーの集合体

対象ごとにコミュニケーションを行う
IR、MR、CR、、、

Internal Relationsを加え、単にRelationsともいう

広報 →
広聴 ←



謝辞

KEK入江敦子さん

JAXAに異動した矢部あずささん

5年間ありがとうございました！